

## 令和2年秋期六浦東地区推進連絡会

### 1 日時

令和2年10月29日（木） 19:00～20:00

### 2 場所

関東学院大学12号館2階

### 3 参加者

（地域側）自治会等地域団体関係	26名
（支援チーム、その他行政側）	
区役所	11名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	5名

### 4 意見交換要旨

#### （1）開会の挨拶（六浦東地区社会福祉協議会会長）

コロナ対策により、短い時間での開催となることをご了承いただきたい。

本日は六浦東地区社協の常任理事が出席している。

先日は、地区の会長会議へ永井区長にご出席いただいたり、もりのお茶の間に区長と副区長がお越しになったりした。もりのお茶の間は、市の助成金の配分が決定した。コロナ対策のために活用していきたい。

#### （2）出席者紹介

#### （3）区役所あいさつ（永井区長）

コロナのために地域も区のイベントも中止となっている中、対策を行いながらももりのお茶の間などの運営が行われていて、頭が下がる思いである。コロナの収束がまだまだ見えない状況ではあるが、感染予防対策をとり、少しずつイベントなどを再開していく予定であり、地域の活動を支えていきたい。

#### （4）第3期地域福祉保健計画地区別計画の令和元年度の振り返り

キャッチフレーズ「誰もが住みよい支え合いの街六浦東」に沿って、3つの目標別に16の事業を展開してきた。各代表に、コロナ禍の中での状況も踏まえて各取り組みを発表していただきたい。

##### ・地域子育て連絡会

「いこいの場」は8月から再開したが、参加者が少ない状態が続いていた。

11月4日の開催の時は、関東子ども園の子どもたちが15人ほど参加予定であり、久しぶりに活気が出そうである。

「ふれあいサタデー」は、体育館の開放が休止のため、休みにしていたが、9月から再開し、中学生・高校生がバスケットボールを中心に頑張っている。

「俳句の会」は、瀬ヶ崎小の子どもたちを中心に、秋を思う句を作成した。

「芸能祭」、「ふれあい盆踊り」、「地域ふれあいまつり」は中止となり、「ヤ

ングボランティア」も今年度は活動できていない。

#### ・保健活動推進員

7月まで活動が中止。定例会は4月・9月に実施した。10月30日保健活動推進員会にて、「コロナ禍だからこそ、手の汚れを調べてみませんか」の講習会を実施予定。今後の活動は未定だが、1月にコグニサイズ講座を実施予定である。

#### ・地区老人会

老人クラブは、「健康」「友愛」「社会奉仕」という3本柱を軸に活動している。「健康」には、体操やウォーキングなどの10項目が定められ、「友愛」は一人暮らしやひきこもりの方の見守り、居場所づくり、「社会奉仕」では、公園や歩道の清掃活動に重点を置いている。

居場所に関しては、もりのお茶の間にいつも掲示しているマップがあるので、それをご覧いただきたい。

#### ・更生保護女性会

コロナの影響で、月1回開いてきた理事会等も開けず、研修会や講習会も1回も開けていない。また、「社明大会」も中止ということで、活動を停止している。会員同士の交流は電話で行っている。

#### ・主任児童委員

「わくわくキッズ」は、3月のひな祭り以降中止になっており、小さなお子さん連れの親子が集まる場がなく辛い状況が続いた。

7月から再開し、7月6日は七夕飾り作り、9月14日はコロナ時代の親子防災、10月5日には六浦瀬ヶ崎公園でミニ運動会を行い、11組の親子が参加した。今後も感染対策と状況を見ながら活動をしていきたい。

#### ・青少年指導員

行事がほとんど中止となり、「青少年健全育成行事」の運動会を毎年5月に行っていたが、それも中止となった。瀬ヶ崎小のスポーツフェスティバルへのお手伝い、令和3年1月11日の成人の日の催しを予定しているが、それ以外の今年度の行事は全て中止である。

#### ・スポーツ推進委員

なかなか活動ができない中ではあるが、引き続きスポーツ推進に努めていきたい。

#### ・婦人部

瀬ヶ崎東部町内会では、週に1回、見守り隊という瀬ヶ崎小の下校見守りを行っている。瀬ヶ崎東部と室の木の通学路変更に伴い、危険な場所もあるということで、7月いっぱい毎日子どもたちの通学を見守った。役員会議の折に報告をしたところ、瀬ヶ崎東部の男性陣も朝の見守りの参加してくれることとなった。また、毎日瀬ヶ崎小の階段の清掃・消毒活動も行った。婦人部だけでなく、もりのお茶の間のスタッフや東部の男性陣、瀬ヶ崎台の会長

なども参加して、無事終わることができた。コロナ禍の今だから、少しでもできることをしていければと思う。

もりのお茶の間のサロンスタッフをしているが、お茶の間に来られない方を対象にお弁当の配達をするアイデアも出ている。必要な方にはぜひ声を掛けてほしい。

#### ・民生委員・児童委員

現在、民生委員7名、主任児童委員2名、欠員1名となっている。平成のうちは配食活動を行っていたが、令和に入ってから配食を取りやめて、各自治会・町内会独自の見守り活動に取り組むこととなった。その後2月後半は戸別の訪問活動などは中止し、手紙や電話で見守り活動をしている。11月は今年75歳になった1人暮らし高齢者の情報を確認しているところである。

再来年に予定している次の一斉改選では、半分くらいの民生委員が定年を迎えるので。各自治会・町内会では、新しい民生委員を探しておいていただきたい。

#### ・保護司

主な活動は9月から再開となった。9月には、「金沢区中学校生徒指導専任教諭と保護司との意見交換会」を実施し、瀬ヶ崎小、六浦小、六浦南小の児童支援専任教諭、生活支援教諭、保護司との意見交換会を行った。

「社明大会」は中止となった。犯罪の背景には、家庭環境や地域とのつながりの希薄化など様々な要因がある。今後も啓発に励んでいきたい。

#### ・六浦東連合子供会

運動会や盆踊りなど行事の中止が続いた。今後どうなるかは現在未定である。

#### ・瀬ヶ崎小学校長

3月の一斉休校に始まり、空白の時の重さを感じさせられたが、できることを工夫してやっている。運動会は消毒隊を作って実施し、6月から7月は教職員の疲弊感も強く、毎日の消毒も大変であった。そんな中、地域の皆さんに協力していただいたのは大変ありがたかった。通学路変更に関しても、地域や南共済病院の方々にご協力いただき、子どもたちの安全につながった。

地域との交流が難しい中だからこそ、子どもたちの目は地域に向いているなど感じることが多い。例えば4年生は総合の時間でせっけんを作っているが、もりのお茶の間に持っていきこうかと話していたり、6年生はこれまでの地域への感謝の気持ちを表せないかと話しているところである。

#### ・六浦中学校長

10月19日には金沢公会堂での合唱コンクールがあった。11月6日には運動会を実施予定である。いつも地域の方にご覧いただいていたが、お招きできず残念である。会長と主任児童委員に、「地域の思いや願いを知る」とい

う道徳の授業で、ビデオ出演していただいた。それを踏まえ、中学生川柳を作り、地域の会長のお力添えにより地域の掲示板などに掲示していただいた。

・柳町地域ケアプラザ所長

緊急事態宣言の中、ケアプラザ自体お休みであったが、デイサービスはいつも通り運営していた。消毒や手洗いなど、細心の注意を払って対応してきた。貸室も全く休みだったが、来館者の協力のもと様々な対策を取りながら、現在は少しずつ使えるようになっている。11月は恒例の感謝祭を残念ながら中止した。

外に出られない方を心配している高谷町内会の会長から相談を受け、地域において活動再開に向けてどのようなことを注意していけば良いのかを、包括支援センターの看護師と一緒に考える場をいただく予定である。

・関東学院大学 建築・環境学部 建築・環境学科 (中津准教授)

9月の末から授業を再開し、基本的には対面式で行っている。昨年度は、6年前から瀬ヶ崎小で行っているアスレの森での環境教育の活動も、台風19号の影響で森の中に入ることができず1回しか活動できなかった。今年度もコロナ禍で活動ができず、学生たちはうずうずしているところである。

(5) 第4期計画策定について (福祉保健課事業企画担当)

意識調査の「気になること、心配ごと、困りごと」は、区平均との相違点として、六浦東地区では3位が外出時の移動手段、5位が日常の買い物の便、6位が犯罪や防犯のことという結果が出た。

日常生活でのちょっとした困りごとの助け合いについては、区平均、六浦東地区ともに2割と少ない。

大規模災害時に近隣で助け合える取組については、できていると答えた人の割合が、区平均よりやや低くなっている。六浦東は平潟湾に面しており、災害に対するニーズが高いが、その反面、地域の災害への取組を知らない人が多いのではないか。

(その他、金沢区の将来人口、高齢化率や要介護認定率等及び「金沢区暮らしや地域に関する意識調査結果 (令和元年度実施)」における六浦東地区の結果等の説明。)

(6) 計画策定の進め方について (地区社会協議会会長)

第2期ではキャッチフレーズ「誰もが住みよい支え合いの街六浦東」のもと、それぞれの事業で目標を定め、活動してきた。その中の支え合う街づくり活動として、4年前にもりのお茶の間が誕生した。大きな成果であると同時に問題点もあり、高齢化や人材の確保などが難しくなっているという現状がある。各団体の中で議論の後、計画の原案を春の推進連絡会で持ち寄りたい。来年の秋の地区推進連絡会で、計画の仕上げを行うので、ご協力を賜り

たい。

**(7) まち歩きについて**

地域支援チームが中心となって実施する。人数を少なくするために、今回は11月24日と12月15日の2回に分けて実施する。地域の方々にもぜひご参加いただきたい。

**(8) 金沢区社会福祉協議会あいさつ**

市社協も、全社協でも、こんなときだからこそ求められる地域活動の継続を呼びかけている。継続していけるかどうかなど、不安な声も地域から聴かれるが、低空飛行でも良いので活動を持続していただきたい。六浦東では、できる工夫を重ねながら活動されていることをとても嬉しく思う。

オンラインやSNSの活用に注目が集まっている。新しいツールを活用することで、これまでつながらなかった新しい人材に繋がることのできるかもしれない。しかし、地域のことを本気で愛し考える人材は、日頃の皆さんの活動によって生まれ育まれるものである。今後もますます活発に地域の活動を行っていきけるよう、支援チームとしてサポートしていきたい。

**(9) 閉会のあいさつ（地区社会福祉協議会副会長）**

瀬ヶ崎小での学援隊として、20年ほど活動しており、現在は7名で活動している。今後もできる限り地域のために頑張りたいと思う。本日はありがとうございました。